

# 1 総 括

## 1-1 業務の概要

近年の技術革新の進展や著しい技術の先端化に伴い、センターの役割は県内企業の技術開発・技術力向上を支援する中核機関として、工業技術の高度化・先端化がますます強く要請されている。このため、県内企業の「技術の拠りどころ」としての機能を果たしていくためには、エレクトロニクスや新素材、バイオテクノロジー等の先端技術に関する研究開発をはじめ、地域産業のものづくり技術の高度化、地域資源の高度利用のほか、新事業の創出や新分野への進出につながる研究開発に取り組むとともに、大学等研究機関や企業との産学官連携による共同研究等を推進し、新時代へ対応した新たな産業興しを図る必要がある。

業務の概要としては、県内中小企業を主な対象とする技術相談・指導、依頼分析・試験等の技術支援業務及び製造業振興に資する研究開発業務を主要業務とするほか、メール配信サービス「KIT-news」等地域企業への情報提供業務を行うとともに、インターネットのホームページを活用して積極的に情報発信を行っている。また、産学官が自由に設備を利用できる開放型の支援施設「R&D支援センター」や、「システム技術開発センター」などの利用を通して、地域企業の独創的な技術開発や成長分野への展開を円滑に推進している。

## 1-2 組織と業務

### 庶 務 部

- (1) 庶務一般に関すること。
- (2) 他部の所管に属しないこと。

### 企画支援部

- (1) 試験研究及び技術指導の企画及び総合調整に関すること。
- (2) 工業技術に関する情報の調査及び提供に関すること。
- (3) 国、地方公共団体、大学、企業等との連絡調整に関すること。
- (4) 工業デザイン及び工芸品の開発研究、調査及び技術指導に関すること。
- (5) 工業デザイン及び工芸品に関し、依頼に応じて行う分析及び試験に関すること。

### 食品・化学部

- (1) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 食品工業、化学工業、環境工業及び繊維工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### 生産技術部

- (1) 機械工業、電子工業及び金属工業の試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (2) 機械工業、電子工業及び金属工業に関し、依頼に応じて行う分析、試験、検査測定及び加工に関すること。

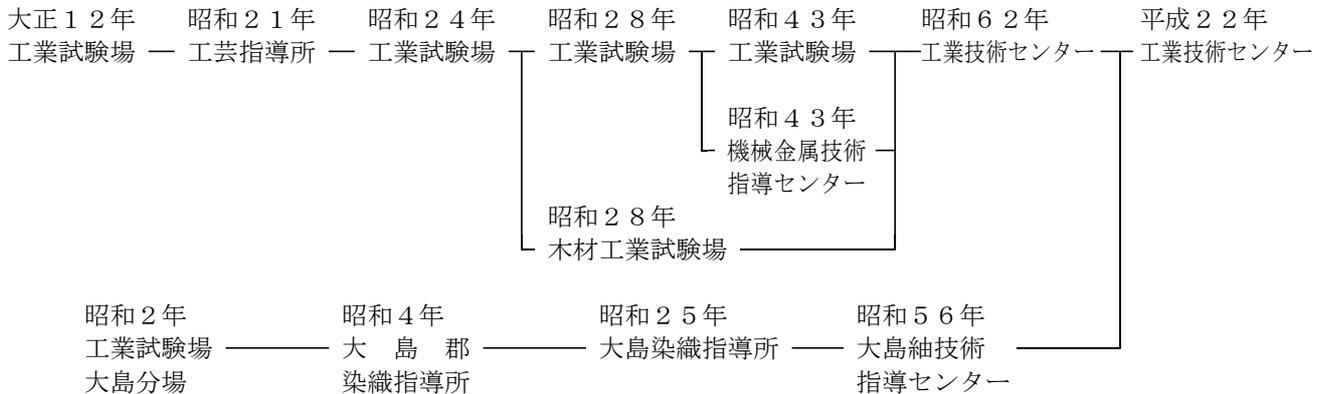
### 地域資源部

- (1) 木材、竹材等の地域資源の試験研究、調査及び技術指導に関すること（他部の所管に属するものを除く）。
- (2) 木材、竹材等の地域資源に関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること（他部の所管に属するものを除く）。
- (3) シラスの試験研究、調査及び技術指導に関すること。
- (4) シラスに関し、依頼に応じて行う分析、試験及び加工に関すること。

### （シラス研究開発室）

地域資源部の項の第3号及び第4号に掲げる事務を分掌する。

## 1-3 沿革

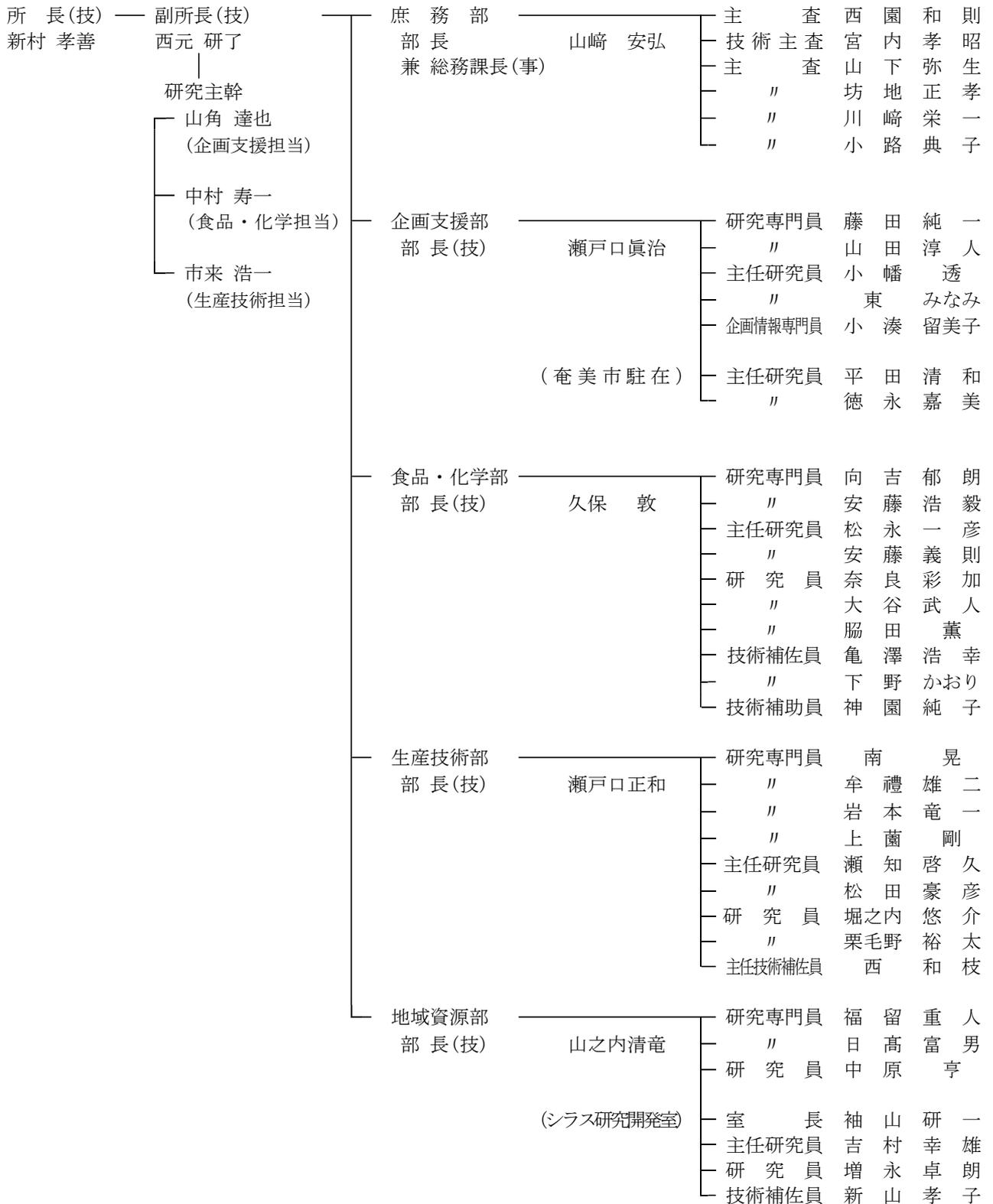


- 大正12年 4月 鹿児島市高麗町に工業試験場を設立し、染色、機織の2部を設置
- 昭和2年 4月 工業試験場大島分場を設置し、庶務、図案、原料、染織の4部で発足
- 昭和4年 6月 鹿児島市原良町に移転
- 昭和4年11月 原料糸検査、醸造、玉糸製糸、撚糸、図案の各部を増設
- 昭和15年 4月 工業試験場大島分場を大島郡染織指導所と改称し、庶務、原料、染織、図案の4部に改編
- 昭和17年 1月 窯業部を増設
- 昭和21年 4月 木工、化学部を増設
- 昭和21年12月 工業試験場に木工養成所を併設
- 昭和23年 1月 工芸指導所と改称し、庶務、化学、窯業及び工芸振興の4部に改編
- 昭和24年 4月 竹工部を増設
- 昭和25年 6月 工業試験場と改称し、庶務、化学、及び工芸（木工、竹工、窯業）に改編
- 昭和26年 4月 大島郡染織指導所を大島染織指導所と改称
- 昭和27年 4月 発酵工業部を新設
- 昭和28年 4月 工芸部より木工係、竹工係を分離して木竹工部を新設、また揖宿郡指宿町（現 指宿市）に指宿分場を設置
- 昭和28年12月 大島染織指導所は琉球政府経済局の所管へ
- 昭和34年11月 木竹工部と木工養成所を工業試験場より分離して木材工業試験場を設置
- 昭和38年 6月 奄美群島が日本へ復帰、鹿児島県大島染織指導所へ
- 昭和39年 4月 鹿児島市武町に移転
- 昭和43年 2月 指宿分場を廃止
- 昭和43年 8月 工芸部を窯業部に改め、化学部に機械金属班を設置
- 昭和48年 3月 工業試験場の新庁舎竣工
- 昭和56年 4月 機械金属班を分離して鹿児島市宇宿町に機械金属技術指導センターを設立
- 昭和62年12月 鹿児島市東開町に木材工業試験場を移転
- 平成8年 4月 大島染織指導所を大島紬技術指導センターと改称するとともに総務課、機織研究室、図案研究室、染色化学研究室の1課、3室体制とする。
- 平成9年 3月 工業試験場、機械金属技術指導センター及び木材工業試験場を再編・統合し、現住所に工業技術センターを設立、庶務、企画情報（室）、デザイン開発（室）、食品工業、化学、窯業、機械金属、電子、木材工業の7部2室に改編
- 平成9年12月 組織改編により庶務、企画情報、デザイン・工芸、食品工業、化学、素材開発、機械技術、電子、木材工業の9部制発足
- 平成10年 7月 知的所有権センター開所
- 平成13年 4月 システム技術開発センター開所
- 平成22年 4月 R&D支援センター開所
- 平成23年 4月 化学部を化学・環境部に改編
- 平成26年 4月 大島紬技術指導センターを統合し、大島紬部を設置
- 平成29年 3月 組織改編により、庶務部、企画支援部、食品・化学部、生産技術部、地域資源部、シラス研究開発室、大島紬部の6部1室に改編
- 大島紬部を廃止、企画支援部奄美市駐在とし、5部1室に改編
- 企画支援部奄美市駐在を廃止

1-4 機 構

1-4-1 組織と職員配置

(平成28年4月1日現在)



1-4-2 職員現況表

(平成28年4月1日現在)

区分	事務職	技術職	現業職	計	非常勤職員	備考
庶務部	6	3		9		所長，副所長を含む
企画支援部		6		6	1	研究主幹を含む
(奄美市駐在)		2		2		
食品・化学部		9	2	11	1	研究主幹を含む
生産技術部		10	1	11		研究主幹を含む
地域資源部		4		4		
シラス研究開発室		3	1	4		
計	6	37	4	47	2	

1-4-3 人事異動

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

発令年月日	氏名	新 任	旧 任	備考
H28. 4. 1	西元 研了	副所長	商工労働水産部参事 (研究開発業務調整担当)	転 入
	久保 敦	食品・化学部長	商工労働水産部参事付 (かごしま産業支援センター)	
	坊地 正孝	庶務部主査	庶務部主査	再 任 用
	川崎 栄一	庶務部主査	始良高等技術専門校長	
	小路 典子	庶務部主査	始良家畜保健衛生所衛生課主幹(兼)総務係長	
	平田 清和	企画支援部主任研究員	企画支援部主任研究員	
	徳永 嘉美	企画支援部主任研究員	企画支援部主任研究員	
	尾前 宏	商工労働水産部参事付 (かごしま産業支援センター)	生産技術部研究専門員	転 出
	塚本 翔悟	環境保全課衛生技師	地域資源部シラス研究開発室研究員	
	脇田 薫	食品・化学部研究員		新規採用
	増永 卓朗	地域資源部シラス研究開発室研究員		
H29. 3. 31	山崎 安弘		庶務部長(兼)総務課長	退 職
	山角 達也		研究主幹 (企画支援担当)	

## 1-5 規 模

### 1-5-1 土地・建物

土地面積 56,612.40 m<sup>2</sup> (霧島本庁舎 50,256.06m<sup>2</sup> 奄美分庁舎 6,356.34m<sup>2</sup>)  
 建物延べ面積 19,099.73 m<sup>2</sup> (霧島本庁舎 16,664.99m<sup>2</sup> 奄美分庁舎 2,434.74m<sup>2</sup>)

区 分	面 積 (単位m <sup>2</sup> )	内 訳		
		階別	面積(単位m <sup>2</sup> )	備 考
霧 島 本 庁 舎	管 理 研 究 棟 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 下 1 階 地 上 3 階	地階	911.49	機械室, 中央監視盤室 他
		1 階	2,884.14	庶務部, 企画支援部, 会議室 研究員室, ショールーム 他
		2 階	3,097.77	食品・化学部, 生産技術部, シラ ス研究開発室, 電子計算機室
		3 階	2,540.82	企画支援部, 生産技術部, 地域資 源部, R&D支援センター
		棟屋	356.07	機械室
奄 美 分 庁 舎	実 験 棟	食品・化学実験棟	656.10	1 階 656.10 食品・化学部
		窯業実験棟	951.35	1 階 951.35 生産技術部, シラス研究開発室
	鉄 骨 造 平 屋 建	機械金属実験棟	1,640.25	1 階 1,640.25 生産技術部
		木材工業実験棟	1,541.84	1 階 1,541.84 企画支援部, 地域資源部
	システム技術開発センター 木造(一部鉄筋コンクリート造) 平屋建	1,058.51	1 階 1,058.51	産学官共同研究室 実験シミュレーション室 制御測定室, 試作研究室
	そ の 他 付 属 棟	1,026.65	1,026.65	浄化槽機械室, 車庫, 官舎 他
奄 美 分 庁 舎	事 務 所 及 び 研 究 室 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 造 地 上 2 階	1 階	1,499.26	職員室, 会議室, 展示ロビー 資料室, 機織試験室, 染色試験室 染色加工室 他
		2 階	630.40	デザイン研究室, 開放試験室 機器分析室, 化学分析室, 暗室 機器計測室, 機器計測準備室 他
	ハイテク開放試験室 鉄 骨 造	164.32	1 階 164.32	つむぎゆらおう塾
	そ の 他 付 属 棟	140.76	140.76	廃水処理施設, 実験用泥田

### 1-5-2 配置図



■霧島本庁舎



■奄美分庁舎

1-6 決算

1-6-1 歳入

執行状況

(単位：円)

款	項	目	収 入 額	備 考
使用料及び手数料	使用料	商工使用料	3,665,149	うち設備使用料3,665,149
		商工手数料	3,858,920	
	小計	7,524,069		
財産収入	財産売払収入	物品売払収入	1,459,638	奄美市駐在の物品売払収入
		生産物売払収入	529,920	
		小計	1,989,558	
諸収入	雑収入	受託事業収入	17,959,634	
		その他収入	142,574	
		小計	18,102,208	
合	計		27,615,835	(本課受入分を含まず)

1-6-2 歳出

執行状況

(単位：円)

款	項	目	支 出 額	備 考
農林水産業費	農業費	農業振興費	14,794	農産園芸課
		林業費	7,900	森林経営課
	小計	22,694		
商工費	工鉱業費	中小企業振興費	84,560	かごしまPR課
			89,780	産業立地課
		工業技術センター費	183,772,801	産業立地課
		小計	183,947,141	
合	計		183,969,835	(人件費及び本課執行分を含まず)

## 1-6-3 補助事業等

(単位：千円)

区分	補助事業等の名称	事業名	事業費	補助率	補助額	交付決定日	備考
受託	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)(中小企業庁)	蓄熱・放熱機能付環境対応型塗壁材の開発	350	1/1	350	28. 4. 1	
〃	平成28年度単式蒸留焼酎に係る委託調査研究(日本酒造組合中央会)	酵母混合醸造による奄美黒糖焼酎の工程改善及び酒質の多用化技術の確立	900	1/1	900	28. 4. 1	
〃	(公財)天田財団一般研究開発助成事業	金属/セラミックスの異材レーザーブレイジングにおける活性金属ろう材酸化挙動の解明	0	1/1	0	28. 4. 1	
〃	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)(中小企業庁)	軽量化自動車部材の低コスト・高品質加工を実現する次世代鍛造法の開発	5,636	1/1	5,636	28. 4. 1	
〃	研究成果展開事業 マッチングプランナー プログラム「探索試験」 ((国研)科学技術振興機構(JST))	クエン酸発酵残渣からの機能性糖類の生産	530	1/1	530	28. 4. 1	
〃	研究成果展開事業 マッチングプランナー プログラム「探索試験」 ((国研)科学技術振興機構(JST))	レーザー急速加熱環境下におけるセラミックスと低融点ろう材のぬれ挙動解明	1,010	1/1	1,010	28. 4. 1	
〃	革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト) ((国研)農研機構)	「医福食農連携」による鹿児島県産農畜産物等の消費拡大に向けた高付加価値食品の開発	1,200	1/1	1,200	28. 4. 18	
〃	革新的技術開発・緊急展開事業(うち地域戦略プロジェクト) ((国研)農研機構)	南九州地域に適した焼酎麴用米専用品種の普及及び省力・低コスト栽培技術の確立	3,740	1/1	3,740	28. 5. 2	
合 計			13,366		13,366		

1-6-4 検査・監査等

種 別	実施年月日	対 象 期 間	実 施 者 職・氏名	備 考
委員監査	平成29年 1月12日	平成27年度	監査委員 福司山宣介 監査委員事務局 特別監査監 伊地知茂樹 監査第二課 本田 親久	
職員監査	平成28年11月 1日	平成27年度	監査委員事務局 今村和憲, 宮路敏雄, 蒲ヶ原哲子	
包括外部監査	平成28年11月29日 12月22日	平成27年度	包括外部監査人 西 洋一	

1-7 会議等への参加

(件数)

部 名 項 目	庶 務 部	企 画 支 援 部	企 画 支 援 部 奄 美 市 駐 在	食 品 ・ 化 学 部	生 産 技 術 部	地 域 資 源 部	シ ラ ス 研 究 開 発 室	合 計
試験研究機関連絡会議	6	11	0	11	11	6	5	50
学 会	0	2	0	6	12	4	0	24
研 究 会 ・ 講 習 会	22	42	0	49	36	9	4	164
そ の 他	35	9	0	18	19	4	3	88

※庶務部は所長, 副所長を含む

1-8 設 備

平成28年度に整備した機器(重要物品)は, 以下のとおりである。(5機種)

部 名	機 器 名	型 式	メーカ一名	備 考
食品・化学部	顕微赤外面分析装置	FT-IR-4700/IRT-5200	日本分光(株)	JKA補
食品・化学部	焼酎香味成分分析装置	GC-2014AF/SPL	(株)島津製作所	受託
生産技術部	塩乾湿複合サイクル試験機	CYP-90	スガ試験機(株)	JKA補
生産技術部	リバースエンジニアリングシステム	MIRAGE SHAPE POLYGONALmeister	(株)富士テクニカルリサーチ社	受託
地域資源部	低温恒温恒湿器	PR-2J	エスペック(株)	

(注) JKA補: JKA補助金((公財)JKAからの交付)により購入したもの  
受託: 革新的技術開発・緊急展開事業などからの受託事業で購入したもの